令和５年１月13日

新型コロナ感染症関連報告

昨年12月26日の発症から始まった新型コロナ感染症大規模クラスターでしたが、昨日１月12日を持ちまして観察期間が終了いたしました。この間多くの入所者そしてご家族の皆様に多大なるご迷惑、ご心配をおかけしましたこと、施設を代表いたしまして心よりお詫び申し上げます。

発症初日に１１名の感染が確認されてから数日の間に、半数以上の入所者の陽性が確認されるという、その感染力の強さに日頃から準備していたゾーニングや予防対策も間に合わず、最終的に８割以上の方が罹患することとなってしまいました。

昨年１１月より職員は週１回、１２月からは週２回抗原検査を実施し、健康管理の徹底に努めており、発症日直近も陽性者は報告されていませんでした。家族面会もオンラインのみ、短期入所者に対しても抗原検査を実施している中での発症と、未だにその原因は特定できておりません。

いずれにしても今回のことを教訓に、今後益々感染症対策の充実強化に努めてまいりますので、ご理解、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム　ことぶきの郷

施設長　木我　勝